

平成 27 年日本熱物性学会第 1 回 (2015-1) 役員会議事録 (案)

平成 26 年第 4 回(2014-4)役員会との合同会議

日時: 平成 27 年 1 月 24 日(土) 役員会 14:00~16:30

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者: (五十音順・敬称略)

赤松正人(山形大学)	浅岡龍徳(信州大学)
荒木貞夫(関西大学)	池内賢朗(アドバンス理工)
遠藤理恵(東京工業大学)	遠藤亮(東レリサーチセンター)
大蔵政史(大阪府立大学)	小田究(名古屋市工業研究所)
小原拓(東北大学)	小宮敦樹(東北大学)
迫田直也(九州大学)	佐藤真奈美(大阪工業大学)
柴田浩幸(東北大学)	芝原正彦(大阪大学)
新里寛英(九州大学)	田口博幸(京都電子工業)
田中勝之(日本大学)	手嶋康介(京都電子工業)
長坂雄次(慶應義塾大学)	長野方星(名古屋大学)
西川和宏(パナソニック)	春木将司(広島大学)
福山博之(東北大学)	堀部明彦(岡山大)
牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)	水野章敏(学習院大学)
宮崎康次(九州工業大学)	宮本泰行(富山県立大学)
元祐昌廣(東京理科大学)	桃木悟(長崎大学)
山田純(芝浦工業大学)	山田盛二(サンタバーキングラボラトリー)
山田雅彦(北海道大学)	吉田篤正(大阪府立大学)

審議事項:

吉田前会長より挨拶があり、引き続いて佐藤会長より挨拶があった。配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 新旧役員紹介と前回議事録確認……………資料番号: 15-1-1

新旧役員の紹介がなされ、資料 15-1-1(1)に基づき、名簿の確認が行われた。修正が有る場合は、一週間以内に事務局に連絡する旨の依頼があった。続いて、元祐評議員より、資料 15-1-1(2)に基づき、前回議事録の確認があった。

(2) 学生プレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号: 15-1-2

桃木理事より、資料 15-1-2 に基づいて、第 35 回シンポジウムにおける学生プレゼンテーション賞についての選考結果の報告があった。審査の結果、38 名から 7 名が選ばれた旨が報告された。採点者による得点分布を低減させるよう配慮し、審査方法が良い方向に進んでいる報告があった。今後も研究内容の評価を組み込んだ形式は継続する。

(3)第 35 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号: 15-1-3

花村実行委員長の代理として元祐評議員より、第 35 回シンポジウムの収支決算が報告された。149 件の発表、298 名の参加があった旨が報告された。講演論文集について、冊子、USB、Web の 3 形態で提供し、支持する提供形態に関するアンケート結果では、冊子：USB：Web が 1：2：0.7 となった。アンケートの件について、USB の支持が高い結果を、次回シンポジウムで反映させていたただければとの依頼が佐藤会長よりあった。

(4)覚書の確認……………資料番号: 15-1-4

小原事務局担当副会長より、学会運営に関する覚書の紹介があった。第 35 回シンポジウムの情報が追加された旨が報告された。

(5)第 35 期(平成 26 年)活動・決算報告……………資料番号: 15-1-5

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-5 に基づき、学会の第 35 期(平成 26 年)の活動報告に関する報告があり、一部修正の後に承認された。続いて、収支決算の説明がなされた。出版物販売、著作権使用料、第 35 回シンポジウムからの「寄付」としての収入があった旨、研究分科会の経費節約分だけ支出減となった旨が確認され、シンポジウム「準備費」を「シンポジウムへの交付金」とするなどの一部修正の後に承認された。

(6)第 36 期(平成 27 年)事業計画……………資料番号: 15-1-6

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-6 に基づき、学会の第 36 期(平成 27 年)の事業計画案が報告された。役員会日程、活動計画などについての報告があり、一部修正の後に承認された。

(7)第 36 期(平成 27 年)収支予算……………資料番号: 15-1-7

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-7 に基づき、学会の第 35 期(平成 26 年)の収支予算に関する報告があった。J-Stage への論文掲載費用が論文公開費として 200,000 円が第 36 期予算の支出として追加される旨が説明され、承認された。

(8)第 36 回・第 37 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号: 15-1-8

柴田シンポジウム担当理事より、資料 15-1-8(1)に基づいて、第 36 回シンポジウムの準備状況についての報告があった。学会誌 2 月号に掲載予定の第 1 回会告について説明があった。特別講演 2 件が決定している旨、USB 講演論文集の配布はせず冊子体のみを配布する旨、会期の 1 週間程度前に Web での講演論文集が閲覧できるよう準備する旨が報告された。Web 講演論文集のこうかいについては、シンポジウム実行委員会に一任することとなった。

続いて、堀部編集担当より、資料 14-1-8(2)に基づき、第 37 回シンポジウムの準備状況が報告された。2016 年 11 月 28 日(月)～30 日(水)を第一候補に、11 月 17 日(木)～19 日(土)を第二候補とし、会場は現在 4 件の候補があるが、予算の件および確保可能部屋数を考え、岡山大学 50 周年記念館を第一候補とし、4 部屋確保が難しいようなら次点として岡山国際交流センターとすることとした。

(9)各種委員会報告……………資料番号:15-1-9

編集委員会

堀部編集委員会委員長より、資料 15-1-9-1 に基づいて、平成 26 年度活動・会計報告と平成 27 年度活動計画についての報告があった。続いて、2 月号会誌に関する報告があった。理事会で了承された、研究分科会に関する記事を掲載する案について説明があり、承認された。また、分科会からの報告の他に分科会主査にトピック等（サロン等）を投稿していただきたい、との提案があった。

熱物性値サービス委員会

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-9-2 に基づいて、平成 26 年度活動報告と平成 27 年度活動計画があった。月平均約 8300 件のアクセスがあり、論文ダウンロード数は約 550 報とのこと。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 15-1-9-3 に基づいて平成 26 年度活動・会計報告と平成 27 年度活動計画があった。プレゼンテーション賞の選考において、研究内容を評価項目に入れつつ、採点者による得点の分布を低減できた旨が報告された。ハンドブックの講習会・セミナーなどの企画を検討し、活動を進めていくとの報告があった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 15-1-9-4 に基づいて、平成 26 年度活動・会計報告と平成 27 年度活動計画があった。

表彰委員会

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-9-5 に基づいて、表彰委員会の活動について報告があった。続いて、2015 年学会賞候補の募集記事案が出された。

(10)研究分科会について……………資料番号:15-1-10

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン、高温融体物性と材料プロセス、水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会、ふく放射性質とその放射制御に関する研究会、の 4 研究分科会について、それぞれ 2014 年の活動・収支報告、2015 年の活動計画について説明があった。続いて、活動を終了した、低温環境における熱物性の基礎と応用についての収支報告があった。

(11)事務局報告……………資料番号:15-1-11

小原事務局担当副会長より、資料 15-1-11-1 に基づいて、共催・協賛行事の報告があり、続いて、資料 15-1-11-2 に基づいて会員異動の報告があった。また、資料 15-1-別添 4 に基づいて、日本計算力学連合の次期運営委員の選出依頼があり、現在の泰岡氏(慶應義塾大学)に継続頂くことになった。

以上